



2021 年度夏季手当第1回、第2回交渉を行う。

支給水準は **極めて慎重に判断**しなければならない。

経営側

2021 年度夏季手当は、第1回交渉を5月31日、第2回交渉を6月4日に開催し、いよいよ山場を迎えました。

生活のために満額支給を！

本部交渉団は、組合員、社員の生活の安心、安定のために「社員への投資」の必要性を訴えました。また、夏季手当は生活費であり黒字化のために削減することは認められないと、要求の2.8カ月の満額支給を求めました。

まずは赤字からの脱出

対する経営側は、「会社の発展こそが社員の幸福」「社員の安心のためには、まずは赤字からの脱出」「赤字下であっても投資は取り組む」「支給水準は極めて慎重に判断しなければならない」と非常に厳しい見方を示しました。

組合員、社員の生活防衛のための夏季手当支給を求める交渉団ですが、石にかじりついてでも黒字の達成をという経営側を前に非常に厳しい闘いとなっています。

皆さんの「短冊」を本部に届けました。

この夏季手当の闘いにあたって、東京地本では組合員の皆さんから「2021 年度夏季手当の思い」を短冊に書いていただきました。それを「檄」の字に表し本部に届けてきました。引き続き納得できる夏季手当の獲得に向け、職場から闘っていきましょう。

